

■道明寺天満宮 梅まつり

今年も2月11日（土）から3月11日（日）までの30日間、道明寺天満宮で、恒例の梅まつりが行われました。例年のない寒さと冷えで梅の開花も大幅に遅れ、開始当初は観梅客も少ないだろうとの予測で、初日、二日目はぽかぽか陽気だったものの、三日目には小雪が舞うなどの幕開けとなりました。

当会では、期間中の2月11日（土）から3月4日（日）までの23日間、境内に観光案内テントブースを設け、道明寺天満宮縁起や市内案内マップの配布、世界文化遺産登録を目指す古市古墳群の紹介パネルの展示などのミニガイドを行いました。

25日の梅花祭も朝からあいにくの雨模様で、新聞情報も梅の開花状況は連日「咲き始め」から進まず、観梅客の方も参拝客の方も、口を揃えて「今年は遅いですね」との感想で、広島から来られたバスツアーの方々などは、横なぐりの雪に震えておられました。

当初、2月28日（火）までテントブースを設ける予定だったものを、急遽、3月4日（日）まで延長してガイド活動を行った結果、3月に入って開花が進んだこともあって、期間中千人を超える方々がブースを訪れ、準備した「天満宮縁起」や「ふじいでらまほろばマップ」などの資料を大幅に増刷するなど、盛況裡にガイド活動を終えました。なお期間中に募集した奉納俳句については、「ふれあいひろば」のページで入選作品を紹介しています。



冷たい雨の中 案内待ち



春季ウォークの受付